

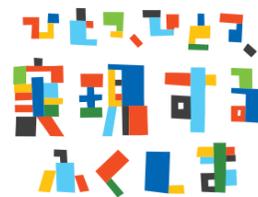
県議会ふくしま

9月定例会(9/17、10/3開催)の概要

第99号



【企画・編集】
福島県議会
広報委員会



〈広告〉

27件の議案を可決

県一般会計補正予算26億5,500万円など

9月定例会では、沿岸漁業の本格操業再開に向けた課題解決のための取組による本県水産業の復興支援、デスティネーションキャンペーンに向けた観光プロモーションやインバウンド受入体制の強化、LPガスを使用する一般家庭等への支援、特別高圧電力を使用する中小企業等への支援など、総額26億5,500万円が計上された一般会計補正予算案を可決しました。

そのほか、知事提出議案として、特別会計補正予算1件、条例関係6件、その他15件、議員提出議案として、廃炉に向けた安全かつ着実な取組を求める意見書など4件、合わせて27件の議案を可決しました。

また、知事提出の専決処分に係る議案1件を承認し、人事関係議案2件に同意しました。

補正予算の主な内容

1 復興・創生に要する経費

- 【主な内訳】
- 水産業復興加速化総合対策事業 1億5,000万円
 - 観光関連団体連携推進事業 7,300万円

2 原油価格・物価高騰等への対応

- 【主な内訳】
- LPガス使用世帯等への支援 6億6,533万円
 - 特別高圧電力を使用する中小企業等への支援 1億3,042万円

3 公共事業・県単公共事業・維持補修費

6億5,200万円

総額26億5,500万円

県議会の動き

常任委員会が 県外調査を実施

総務、企画環境、福祉公安委員会は会期外の8月19日から21日にかけて、また、商労文教、農林水産、土木委員会は会期外の9月3日から5日にかけて県外調査を実施し、それぞれの委員会の所管事項に関連する機関等を視察し、質疑応答を行った。

そのうち総務委員会(高宮光敏委員長)は、8月20日に、石川県中能登町において、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災状況及び災害対応について調査を行った。

広報委員会が 県外調査を実施

広報委員会(江花圭司委員長)は会期外の7月25日から27日にかけて、本県議会の課題となっている若年者向けの広報活動に積極的に取り組んでいる大分県議会及び熊本市議会を調査し、質疑応答を行った。



若年者向けの広報活動について調査(大分県議会)

総括審査会を開催

10月2日、本会議や常任委員会での議論が尽くせなかった問題について一問一答により審議す



総括審査会

決算審査特別 委員会を設置

決算審査特別委員会(佐藤政隆委員長)を9月26日に設置した。同日、決算の認定を求める6件の議案の審査方法等について協議し、議会閉会中に審査することとした。

その後、本庁の審査を10月16日から18日に、出先機関の審査を10月23日から25日に行った。

定例会での主な質問

代表質問 9月19日

自民党 鈴木 智議員

復興財源の確保について

【質問】特定帰還居住区域制度の創設や創設的復興を牽引するFIREEの設立など、復興は着実に前進している一方で、避難指示が解除されたばかりの地域においては、ようやくスタートラインに立ったところであり、福島の復興は途上である。

自由民主党が先月29日に岸田総理に手交した「東日本大震災復興加速化のための第13次提言」を踏まえ、さらなる復興の実現に向けた歩みを進めていくためにも、必要となる財源が確保されるよう、引き続き県としても国に強く求めていくべきである。

そこで、知事は、第2期復興・創生期間の終了を見据え、復興に必要な財源の確保にどのように取り組んでいくのか尋ねる。

【答弁】

本県は、被災者の生活再建を始め、廃炉と汚染水・処理水対策、根強い風評など、複合災害特有の課題に加え、特定帰還居住区域における生活環境整備など、復興の進展に伴う新たな課題やニーズにも的確に対応していく必要がある。

そのため、第2期復興・創生期間

代表質問 9月20日

県民連合 亀岡義尚議員

県民の健康について

【質問】県民の健康寿命をさらに延伸するためには、がんや循環器病といった生活習慣病の発症等をより一層減少させる必要がある。

メタバや喫煙などの生活習慣に関連する指標はフィーストクラスであり、改善のためには県民一人一人の生活習慣を見直すことが重要である。一方で、生活習慣を見直すことは一朝一夕にはいかず、根気強く啓発を続けることが必要であるとともに、現在の人口減少・高齢化が進む状況において、県民の皆さんが健康寿命を延ばしていつまでも元気に活躍いただくことは、今まで以上に重要性を増しているものと考えます。

【答弁】

人口減少と高齢化が進む中、健康寿命の延伸は、誰もが生きがいを持って活躍し続けることができる社会を構築していく上で、重要性を増している。

先日、民話と東日本大震災の語り部である新地町の小野トヨヨさんの百歳長寿の席で、張りのあ

代表質問 9月25日

自民党 佐藤義憲議員

一般質問

主な質問事項

- 1 DXについて
- 2 県産品と観光の振興
- 3 津波地域の医療について

県民連合 吉田誠議員

主な質問事項

- 1 ごみ排出量の削減
- 2 果樹農家への支援
- 3 違法なドローンの取締り

自民党 佐々木恵寿議員

主な質問事項

- 1 除去土壌等の県外最終処分
- 2 ALPS処理水の海洋放出
- 3 帰還困難区域の復興・再生

県民連合 猪俣明伸議員

主な質問事項

- 1 観光地におけるキャッシュレスの普及
- 2 県産食肉の販売拡大
- 3 福島県会津自然の家について

日本維新・無所属の会 水野さちこ議員

主な質問事項

- 1 FIREEについて
- 2 只見線について
- 3 県立武道館の設置

自民党 石井信夫議員

主な質問事項

- 1 介護人材の確保と資質向上
- 2 言語聴覚士の確保
- 3 農林業の振興

県民連合 山田直太郎議員

主な質問事項

- 1 過疎・中山間地域の振興
- 2 部活動の地域移行
- 3 教員の確保

自民党 木村謙一郎議員

主な質問事項

- 1 女性の県外流出
- 2 音楽文化の振興
- 3 災害ボランティアについて

公明党 真山祐一議員

主な質問事項

- 1 水素社会の実現
- 2 県管理河川の浸水対策
- 3 教員の働き方改革

自民党 菅田憲孝議員

主な質問事項

- 1 妊娠・出産の希望をかなえる環境づくり
- 2 指定難病支援
- 3 太陽光発電設備等について

可決した国への意見書

(令和6年10月3日付、国へ提出)

- 1 廃炉に向けた安全かつ着実な取組を求める意見書
【自由民主党、県民連合、日本共産党3党派共同提出】
(概要)本年8月に発生した、東京電力福島第一原子力発電所2号機での燃料デブリの試験的取り出しにおけるトラブルを受け、国においては、東京電力に対し、現場におけるリスク管理の徹底や、燃料デブリの取り出しに当たっては協力会社任せにせず、常に緊

- 2 張感を持ち、全作業に直接責任を持って取り組むよう、指導・監督を徹底することなどを要望するもの。
- 2 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書
- 3 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書
- 4 防災・減災、国土強靱化の推進を求める意見書

意見書とは、県の公益に関することについて、県議会の意思を政府や国会に対し提出するものです。

お知らせ

- ◆令和6年12月定例会は、12月3日(火)開会の予定です。
- ◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL:(024)521-7549
FAX:(024)521-7965
メール:gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆詳しい情報は [福島県議会](#) [検索](#)

- ◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット端末からご覧いただけます。
- ◆「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」「福島県議会X(旧ツイッター)」もご覧ください。